

地域活動 レポート

令和7年11月

No.56

東淀川区役所
地域課（地域）

06-4809-9509

tm0011@city.osaka.lg.jp



■新庄っ子野外活動（9月13日）

「新庄っ子野外活動」が行われました。この事業は、新庄地活協の子ども向けの野外活動事業です。昨年に引き続き、飯田織工株式会社と共同の地域活動として開催されました。飯田織工株式会社は東淀川区内にある、創業120年を超える主に衣類の染色加工事業を行う会社です。

昨年は綿花畑での「綿つみ体験」、今年は「ハンドタオルの染色体験」が行われ、いずれも盛況でした。3種類の染料を混ぜ合わせて自分の好きな色のオリジナルの染料を作り、白いハンドタオルを染める体験をした後、衣料品や環境に関するクイズ企画もありました。まだ収穫時期ではありませんが綿花畑の見学もできたことで、子どもたちは盛りだくさんの内容を楽しめていました。衣類が染まるまでに多くの水が使われていることや複数の染料が使われていることなど、大人も子どもと一緒に学ぶことができました。参加された子どもたちからは「初めて染色して楽

しかった」といった感想が寄せられました。こうした事例のように地活協と企業の連携で、様々な新しい取り組みが生まれると、より地域が盛り上がるにつなげていくと思われました。



■地域の各種イベント開催状況アンケートにご回答いただきました！

6月から8月にかけて各地域で盆踊り大会等、各種イベントが開催されました。令和5年度、6年度に引き続き、地活協会長を対象に、各種イベントを開催した際に困ったことや工夫したことなどを聞く、アンケート調査を実施しました。



集計した結果、令和7年度は令和6年度のような突然の豪雨でイベントを中止するということはありませんでしたが、連日の猛暑など、困ったことや、それらに対する工夫した

ことがありました。その中で特徴的なものを一部紹介します。

まず、困ったことですが、「準備完了後から、祭り開始までの数時間、暑い中スタッフが待機しないといけなかった」という回答がありました。猛暑のため朝や午前中に準備を行ったことで、祭り開始までの時間が長くなり、それまでの熱中症対策が必要になったようです。また、「大学ボランティアが事前把握より多く、配置が余ってしまった」という回答がありました。近年学生ボランティアが参加する様子を見る機会が多くなりましたが、事前に人数を把握しておかないと当日の配置が難しくなったことが分かります。

また、工夫したことですが、「出入口をーか所に絞っての酒類、たばこの持ち込みを防止」という回答がありました。テーマパークや遊園地に入る前に持ち物検査をされた経験があると思いますが、小学校での開催の場合、飲酒・喫煙はできませんのでこのような対策は有効だと感じました。また、準備の時に「倉庫の整理も同時に行い、要らないものを処分した」、開催後、「準備の時に倉庫の整理をしたため、倉庫への搬入もしやすく整理できた」という回答がありました。イベントを開催することを機に倉庫の整理も同時に行うことで、イベントの片付けもスムーズに行うことができた事例です。皆様、参考にしていただきたいと思います。